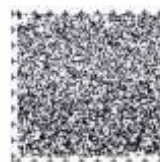


第53号

国立神戸視力障害センター

センターだより



〈発行〉

平成22年3月4日

〈発行〉 国立神戸視力障害センター 神戸市西区曙町1070 電話(078)923-4670 FAX(078)928-4122
URL <http://www.kobe-nhb.go.jp> E-mail syomu@kobe-nhb.go.jp



卒業をお祝いして

所長 千葉 一也

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3年間あるいは5年間にわたってこの国立神戸視力障害センターで学んでこられました。その間様々な出来事があったと思います。むしろつらい厳しいと思うことも多々あったのではないのでしょうか。でもそれを皆さんは乗り越えられてこの日を迎えることができました。皆さんの努力に深く敬意を表します。

皆さんはここに入所するまではそれぞれ仕事あるいは学業に励んで来られました。ところが視覚障害により当センターに入所することとなり、今までとはまったく関係のなかった医療の分野の勉強をすることとなった方も多くでしょう。全く異なる分野で苦労も一方ならぬものがあったと思います。3年あるいは5年の間には、途中で投げ出したくなったこともあったのではないのでしょうか。

しかしながら、立派に所定の課程を修められ皆さんはここに卒業という節目を迎えられました。この道のりを超えて来るには当然多くの支援もあったことでしょう。

でも一番大きいのは皆さん自身の頑張りであったことは間違いありません。解剖学、東洋医学といった未知の分野の講義、それを踏まえた臨床実習など今までやったことのない勉強はどんなに大変だったでしょう。しかし皆さんはそれらを乗り越えられてここにいます。

一つのことをやりとげたという事実はとても重いことです。これからは、今まで学んできたことを生かし、業として医療業界で働いていくわけですが、人を治療しあるいは癒すということは、とても崇高な仕事です。一方で困難な仕事でもあります。患者さんから評価され、信頼される治療師になるためには数々の困難があるかもしれません。悩みにぶつかったとき、ご自身がこのセンターで学んできたことを思いだし自信を持って乗り切ってください。皆さんなら必ずできると信じています。

そして、もう一つセンターで共に学んだ仲間や経験も皆さんの大切な財産です。このことも忘れずに立派に活躍されることを期待しています。また、本センター

もいつでも皆さんの悩み相談などがあればお応えしたいと考えていますので、是非今後ともつながりを持っていただきたいと思います。

最後に皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りするとともに、今後のご活躍を信じて贈る言葉といたします。





卒業に際し

高等課程五年 中村吉昭

私は、ここ国立神戸視力障害センターに入所したのは平成17年の4月でした。三療をめざし頑張ってきました。平成20年には、あん摩マッサージ指圧師の国家試験に合格することが出来、今年2月にはり師・きゅう師の国家試験を受験いたしました。

特に今年は日本では未曾有の危機と言われている状況にあり、厳しい環境の中に身を投じることと成

ります。「辛抱」・「忍耐」・「努力」と言う重荷を担いますが、5年間培った「知識」・「経験」が非常に重要な役割を果たすことと思われます。到達するのはもう少し先かも知れませんが、暫く「辛抱」・「忍耐」・「努力」です。必ず到達という素晴らしい言葉が見つかるまでご鞭撻、ご指導よろしくお願い致します。

卒業生の方々へ

光友会会長 中野安基

ご卒業おめでとうございます

現在、一つの目標を達成された皆さんは、どのような心境でしょうか？

とても誇らしい気持ちで、春の息吹を感じておられる事と思います。

センターに入所されてからの数年間、障害と闘い、新しい世界への挑戦と、大変な努力を積んでこられた事でしょう。初めは、慣れない環境への不安、「勉強なんて久しぶり！」という方もいらっしゃったと思

います。そして臨床が始まり、患者さんとの対話や治療で悩んだ事もあったかもしれません。受験学年では、試験の嵐に奮闘された事でしょう。それらを乗り越えてこられた皆さんですから、これからの社会生活で待ち受ける困難にも打ち勝ち、ご活躍されていくのだらうと思います。私達も、先輩方に続くことが出来るように、日々の努力に精進します。

これからも、お身体に気をつけて頑張ってください。本当にお疲れ様でした。

平成21年度 卒業生進路状況

H22. 2. 25現在

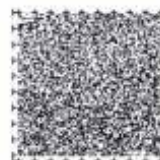
平成21年度の卒業・修了者は、高等課程3年1名、高等課程5年2名、専門課程3年5名、再理療教育課程1名の計9名で、進路については下記のとおりです。

- (注) 1. 各欄上段は男子、
下段は女子
2. 「その他」はいずれも未定



	高3	高5	専3	再理	合計
開業		1			1
治療院就職		1	1		2
病院就職					0
訪問マッサージ			2		2
老健施設			1		1
ヘルスキーパー			1		1
その他	1				1
小計	1	2	3	0	6
合計	0	0	2	1	3
合計	1	2	5	1	9

卒後研修・卒後特別研修会



卒業生の理療師としての資質向上を目的に行われる研修会が、それぞれの地域を対象に、計2回行われました。

①今年で31回目となる理療師研修会は平成21年7月3日、兵庫・大阪・京都在住の卒業生を対象に、神戸市の総合福祉センターにて、29名の参加のもと行われました。

研修内容

「運動療法の応用 腰・膝の痛みについて」(講師：浜上 武男 当センター主任教官) 及び「^{ていふ}推拿療法の基本手技と慢性腰痛の治療について」(講師：日本中医推拿研究会会長 李 強 氏)。

②平成21年10月23日・24日、石川県小松市にて、福井・石川・富山・三重・岐阜・愛知の卒業生を対象に、14名の参加のもと卒後特別研修会が行われました。

研修内容

「小児鍼の基礎 (大師流小児はり)」(講師：品田 眞希子 氏) 及び「カイロプラクティックの基礎」(講師：加納 弘・林 照明 両氏)。

講義および実技指導をまじえた、より実践的な研修内容に各参加者は真剣に取り組んでいました。各地域で活躍する卒業生に対し更なる研鑽の場を提供すべく充実を図っていきます。



国立更生援護施設教官特別研修会

平成21年7月28日～30日、当センターにて各センター主任教官を対象に研修会が行われました。

「創造力を高めるために」とのテーマのもと、3題の講演、見学会、討議等が行われました。

主な内容は以下のとおりです。

講演1として

「利用者及び社会のニーズに貢献し続ける技術が組織マネジメントの手法であることを学ぶ」とのねらいで、兵庫教育大学の浅野良一教授による「学校組織マネジメントの概要」についての講義。

講演2として

「主任業務遂行上必要な自身のモチベーションの維持・向上を図り、それを活かした実践」とのねらいで、同志社大学の太田肇教授による「ワーキングモチベーション」についての講義。

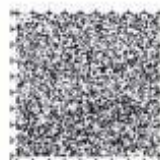
講演3として

「コア技術を大切にし、常に新しい技術にチャレンジし成功に導くプロセスをとおし、新しい取り組みへの発想力の手がかりとする」とのねらいで、榊山本化学工業の山本富造氏による「創造力の源泉」についての講義。



見学会では、理化学研究所(神戸研究所)を訪問し、研究施設内を見学しながら、「発生・再生研究と最先端医療への応用」について概要説明を受けました。

研修会を終え、出席者からは「大変充実していた」「今後の業務にいかしていきたい」等の感想が寄せられ、有意義な研修会とすることができました。





防災への取り組み



今年度は総合避難訓練2回、部分避難訓練4回を実施しました。出火場所、火災想定時間、避難場所等を訓練内容によってかえて、状況により迅速に避難行動がとれるように訓練を行いました。

職員の防災研修について

今年は阪神・淡路大震災15年目を迎え、当時神戸センターも多大な被害にあったことから、その教訓を風化させないよう震災に関する研修を企画し、防災意識の向上に努めた。

実施した訓練

- 9月8日(火) 財神戸市防災安全公社の協力により職員、利用者に対し「起震車体験」及び「かたりべ体験」を実施。
- 12月24日(木)、1月8日(金) 2日間に分けて、職員による防災施設(人と防災未来センター)の見学を実施。



平成21年度 防災避難訓練実施状況

実施日(予定)	訓練の種類	主管課	出火想定	避難場所	想定時間帯	訓練開始時間	訓練概要
4月22日(水)	部分訓練 (避難訓練)	指導課	西側	グラウンド	放課後 (15:30頃)	15:30	新規利用者等の利用開始後の避難経路・体制の確立
6月26日(金)	総合訓練	庶務課	東側	歩行訓練場	放課後 (15:30頃)	15:30	消火器操作、防火扉の開閉を併せて行う (※消防署の指導あり)
7月16日(木)	部分訓練 (避難訓練)	指導課	東側	歩行訓練場	放課後 (15:30頃)	16:10	東側への避難経路確認
9月8日(火)	部分訓練 (避難訓練)	指導課		地域交流棟横	放課後 (15:30頃)	15:30	起震車による地震体験 (※起震車は財神戸市防災安全公社に派遣依頼をする)
10月21日(水)	部分訓練 (避難訓練)	指導課	東側	歩行訓練場	夜間 (21:00頃)	18:30	夜間の避難態勢・経路・照明設備の確認
12月8日(火)	総合訓練	庶務課	西側	グラウンド	夜間 (21:00頃)	15:30	夜間における避難経路・非常時の体制の確認、通報訓練 (※入寮者のみ対象)



- 雨天時の予備日は、別途調整する。(直近日設定)
- 総合訓練とは、避難訓練、消火訓練、通報連絡訓練の全ての訓練を行うことをいう。
- 部分訓練とは、避難訓練、消火訓練、通報訓練の内1種類ないし2種類の訓練を行うことをいう。



福祉機器体験会を開催しました(余暇支援活動)



1月21日(木)午後2時30分から午後5時まで、地域交流棟において開催いたしました。

今回の体験会は利用者のQOL向上の他にも、周辺地域や一般の方に対して、「視覚障害者福祉を担う社会資源」としてのセンターの取り組みをお知らせすることを目的としました。センターとして利用者以外の方も対象とした福祉機器体験会を開催するのは初めての試みだったのですが、42名(うち利用者以外の方31名)の方にご来場いただきました。

ご協力いただいた企業は4社で、参加者はそれぞれ熱心にルーベや単眼鏡、拡大読書器、携帯電話等の取扱いを体験されていきました。また参加された方に会場でアンケートにお答えいただきました。結果は以下のとおりとなっており、貴重なご意見として今後の取り組みに活かしていきたいと思っております。



福祉機器体験会アンケート結果一覧

※回収率38.1%(16名)

項目	内容
参加者居住地	神戸市/10名、明石市/3名、姫路市/3名
所属	利用者/3名、職員/2名、修了者/7名、しらさぎアイアイ会/2名、なし/4名
知った場所	センター案内/11名、神戸アイライト協会/2名、知人の紹介/1名、眼科/1名
今後希望する内容	医療等講演会、福祉機器展、地域の盲人文化紹介イベント、生活訓練や盲人スポーツ体験会、パソコン講習会、華道、テーブルマナー講習会、スポーツ大会

スポーツ系余暇活動支援報告

平成21年12月13日(日)に兵庫県ゴールボール大会が行われ、本センターのゴールボールクラブから男子1チーム、女子1チームの合計2チームが参加しました。大会には県内各地より男子の部、女子の部、それぞれに4チームが参加し熱戦が繰り広げられました。結果、本センターの男子チームは優勝、女子チームは3位となりました。特に男子チームは昨年に引き続き2連覇を果たすことができま

ゴールボールクラブ



サウンドテーブルテニスクラブ



した。

また、サウンドテーブルテニスクラブは平成22年1月19日(火)に地域のサウンドテーブルテニス活動者3名を招いて交流試合を行いました。本センターからはクラブ員4名が参加し、合計12試合を実施しました。多くの利用者が観戦する中、日頃は触れ合うことのない地域の視覚障害者の方々とはスポーツを通じた楽しい交流をすることができました。





自立訓練 所外レクリエーション

平成21年度 自立訓練教養講座及び所外レクリエーション一覧

日時	内容	場所
4月24日(金)	盲導犬体験	本センター
5月29日(金)	音楽鑑賞とバイオリンに親しむ	本センター
6月26日(金)	裁判員制度と視覚障害者(講義)	本センター
7月23日(休)	所外レクリエーション(淡路島でパン作り体験)	淡路ファームパーク イングランドの丘
8月27日(休)	コーヒーを楽しむ	本センター
9月30日(水)	アロマセラピー	本センター
10月29日(休)	旅に出よう!世界を体感しよう(講義)	本センター
12月3日(休)	手芸(ミサンガ作成)	本センター
1月29日(金)	所外レクリエーション(テーマパーク、吹き戻し作り体験)	淡路ワールドパークONOKORO、吹き戻しの里
2月26日(金)	利用者と修了生をつなぐ交流サロン	本センター



音楽鑑賞とバイオリンに親しむ



コーヒーを楽しむ



所外レクリエーション
(淡路島でパン作り体験)



アロマセラピー



所外レクリエーション
(テーマパーク、吹き戻し作り体験)

国立施設の組織等の見直しについて

所長 千葉 一也



昨年の「国立更生援護機関の今後のあり方に関する検討会」報告書等を受けて、国立施設の事務事業の見直し等を行い、国立障害者リハビリテーションセンター（以下「リハセンター」という）を中心に組織の再編を行うこととされました。

その内容は次の3点です。

1. 国立施設として障害全体を視野に入れ、リハセンターを中心として総合的な医療・福祉サービスの取り組みを進めるとともに、医療・福祉施策向上のための政策提言等を行うための機能の充実
2. 各種サービスを適切かつ効率的に提供するため、視力センター、重度センター、秩父学園をリハセンターの内部組織として位置付け機能を一元化し、統一的な方針のもとで事業運営を実施
3. これまで各施設ごとに執行管理されていた予算を「国立更生援護機関」として一本の予算で執行することで各施設間での適切な予算の執行管理が可能

以上のことを踏まえて22年度からは、リハセンターに移管できる事務は移管するなどの事務の見直しが行われることとなり、その結果庶務課の事務官が1名削減されるほか、指導課から支援課への名称変更などが行われることとなっています。このような事務体制の見直しに止まらず国立施設として今後どのような役割を果たしていくべきか、今重要な岐路にあると思います。その役割は前述の検討会では次の様に述べられています。

国立更生援護機関の基本的な役割

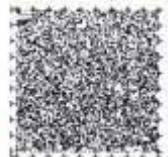
- ・ 障害者リハビリテーションの中核機関
- ・ 科学的根拠に基づく政策への提言
- ・ 民間施設への指導的役割

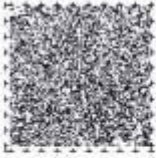
これらをどのように具体化していくのが今後の重要な課題と言えます。

センター行事

(2009年11月から2010年3月)

11月5日(休)	第2回模擬試験(あん摩)	29日(金)	生活訓練課程所外レクリエーション
6日(金)	第2回模擬試験(はり・きゅう)	2月5日(金)	第2回進路指導講座
13日(金)	第4回臨床研修講座	9日(火)	後期期末試験(受験学年、12日まで)
21日(休)	第2回総合避難訓練	12日(金)	第2回職場開拓委員会
25日(月)	後期中間試験(27日まで)	17日(水)	後期期末試験(在所学年、19日まで)
12月2日(休)	障害者週間(9日まで)	26日(金)	受験学年授業終了
	求人説明会	27日(土)	あん摩マッサージ指圧師国家試験
9日(水)	第6回進路指導講座	28日(日)	はり師・きゅう師国家試験
	第5回臨床研修講座	3月2日(火)	卒業証書授与式
19日(土)	利用者冬期休業(理・専門課程 1月3日まで)	5日(金)	終業式
26日(土)	利用者冬期休業(理・高等課程 1月3日まで)	6日(土)	利用者春期休業
1月4日(月)	授業・訓練開始		(就労移行支援 養成施設)
14日(水)	第3回模擬試験(あん摩)	7日(日)	生活訓練体験会
15日(金)	第3回模擬試験(はり・きゅう)	上旬	第7回進路指導講座
21日(水)	福祉機器体験会		





利用者募集と外来相談

国立神戸視力障害センターでは生活訓練課程の利用者を募集中です。電話での相談や見学相談について随時受け付けています。また、理療教育課程（あん摩、鍼灸の職業訓練）についてもお問い合わせください。

生活訓練課程では日常生活を充実させるための様々な訓練を個人に合わせてプログラムいたします。ひとりで外出をしてみたい方、パソコンを始めたい方から、復職に向けて視覚障害を補う道具や手段の相談、練習を希望される方まで、訓練内容や期間について各個人の相談に応じます。理療教育課程などの職業訓練を希望している方も、勉強手段の準備や夜間歩行などの移動技術の獲得のため、生活訓練課程の利用をおすすめします。

生活訓練課程の利用について興味のある方は、まずお電話ください（メールなどでも可能です。）。利用の相談以外でも、便利な道具についての相談や他の施設などの紹介もいたします。御希望の方にはパンフレットなどをお送りします。

来所しての相談や施設内の見学、各種道具の紹介も受け付けています。来所される前に電話での予約をお願いします。なお、電話相談、見学相談は平日の日中に行っています。平日に都合がつかない方には第2土曜日での見学相談も受け付けていますので、事前に電話で御相談ください。

生活訓練課程（自立訓練（機能訓練））

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている15才以上の方
訓練内容	歩行 パソコン 点字 ロービジョン 調理 録音図書再生機器などの各種道具 体育 陶芸 レクリエーションなど
申込み 利用開始時期	随時
期 間	個人に応じる。
手 続 き	募集要項の中の申込書類提出。募集要項は郵送、またはホームページからダウンロード
費 用	自立支援法に基づく利用料。市区町村で決定。詳細は御相談ください。
利用方法	入寮 通所 訪問訓練
連絡先	国立神戸視力障害センター 指導課
電 話	078-923-4670
F A X	078-928-4122
Eメール	sidou@kobe-nhb.go.jp
ホームページ	http://www.kobe-nhb.go.jp/ （「国立神戸視力」で検索できます）
交通アクセス	J R明石駅からバス利用（南3番バス停。西神中央行き）で約15分、吉田バス停から徒歩約3分（バス進行方向に直進、交差点を渡り左折、右側にセンター正門）

